

【海の日】  
今年から実施されることになった、第14番目の国民の祝日「海の日」。  
その趣意は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」というもの。  
未来のために、子孫のために、豊かな海を護ろう——

# 海を渡り、東西を結んだ人達②



私たちは古来より生命をはぐくむ海から、多大な恩恵を受け豊かさを表現してきました。しかし間もなく21世紀を迎えようとする今、環境、食糧、エネルギーなどさまざまな問題に直面しています。四方を海に囲まれたわが国は、これまで培ってきた海との共生の知恵を生かして、世界に貢献できるのではないのでしょうか。海の日を前に開催される「国際海洋シンポジウム」で講演される、作家の陳舜臣さんに「海を渡り、東西を結んだ人達」について伺いました。



陳 舜臣  
(ちん・しゅんしん)。  
作家。大阪府高槻市出身。京都府立大学文学部卒業。早稲田大学文学部助教授を経て、61年「結核の根」で第7回芥川賞を受賞。69年に「青い獅子」で第66回直木賞を受賞。代表作「両片戦争」などの中国歴史小説で知られ、作品を英語、95年、NHK大河ドラマ「真珠の嵐」の書き下ろしを手がけた。他の著書に「敦煌の狼」「江は流れる」「太平洋」などがある。

アレキサンダーも漢の張も、現在のフェルガーナ地方を越えることはできなかった。そこを越えて、本当に東西を結んだのは、テンジス・ハーンとその後継者たちであったといえる。草原のモンゴル族が、世界帝国を築くと、当然のよう

に海洋的性格を帯びてきた。マルコ・ポーロの『東方見聞録』は、それを証明するものといえる。中国大陸と西アジアのベルシャの君主は、突如の兄弟であった。東西の旅は、陸路も海路も、この時代ほど安全だったことはなかった。おそらく為政者があらゆる宗教に寛容で、民族にたいしてくだわることがすくなかったからであらう。

元のつぎの明の時代に、鄭和という司令官が、第一回（一四〇五年）は六十二隻の巨船を率いて、インドのカリカットまで行き、前後七回の航海を敢行し、足跡はアフリカ東海岸からメッカに及んだ。史上でいう大航海時代は、世界的観点からすくなくとも四百年ばかりのぼって、考察すべ

らなければならない。

## 国際海洋シンポジウム'96 International Ocean Symposium '96 (IOS'96)

開催日/平成8年7月16日(火)～17日(水)  
開催場所/「東京ビッグサイト」国際会議場(東京都江東区有明)  
主催/日本財団(財団法人 日本船舶振興会)  
国民の祝日「海の日」を扱う実行委員会



日本財団は、祝日「海の日」の制定を機に「海は人類を救えるか」をテーマに記念講演、基調講演及びパネルディスカッションからなる国際海洋シンポジウムを開催します。パネルディスカッションは第一日目「地球環境と海洋一帯の可能性を求めて」、第二日目「海を越える文明」について行います。

### 【講演者】

【一日目】 ジャック・ピカル／原 浩／石 之／オーレ・ヨハン・ニースバット  
新野 寛子／平 啓介／フランソワ・マンジュ  
【二日目】 須 賀 弘／大 井 太良／岡 本 俊／秋 田 智 恵／田 中 康 子／瀧 下 武 志  
A. B. ラビアン (敬称略・敬不称)

### 【募集要項】

定員：1,000名/1日  
参加費(資料及び昼食代)：1日2,000円、両日3,000円  
申込み締め切り日：平成8年7月7日(日)

【応募要項】 参加希望者は住所、氏名、年齢、職業(所属部署名、学級名等)、電話・Fax番号、参加希望日(16、17日及び両日)を明記の上、下記までFax又は郵送でお申し込み下さい。申込書受領後、確認書を送付いたしますので、期日までに指定の銀行に参加費をお振り込み下さい。なお、会場に都合上、先着順とさせていただきます。振り込み確認後、参加証/領収書を送付致します。参加証は当日、必ず受付にご提示下さい。

後援/総務省、科学技術庁、環境庁、外務省、文部省、農林水産省、運輸省、建設省、東京都、国際通信広域センター、国際海事機関、ユネスコ政府間海洋学委員会、国際海事大学、朝日新聞社、テレビ朝日  
お申込み/お問合せ先 日本財団 海洋船舶部  
国際海洋シンポジウム 庶務課事務室  
〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16 (船越振興ビル8F) Tel:03-3502-2409 Fax:03-3508-2437



日本財団  
The Nippon Foundation